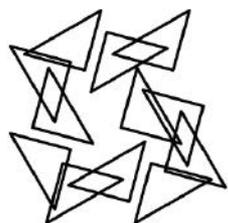


岐阜大学環境サークル G-ametの取り組み

～環境意識の向上を目指して～



東海国立大学機構 岐阜大学
岐阜大学環境サークル
G-amet
GIFU UNIVERSITY STUDENTS' ASSOCIATION
FOR THE ENVIRONMENT

柴山 晴香 (地域科学部2年)
堀部 真生 (応用生物科学部2年)
後藤明日香 (応用生物科学部2年)
前田 佳穂 (応用生物科学部1年)
上井ゆり子 (応用生物科学部1年)

G-ametとは？

- 団体名： 岐阜大学環境サークル G-amet
Gifu University Students' Association for the Environment
- 部員数： 34名（自然科学技術研究科、応用生物科学部、工学部、地域科学部）
- 創設年： 2018年9月10日
- 活動場所： 主に岐阜大学キャンパス
全国への出張や、オンラインでの国際大会への参加も

廃棄物・資源循環部門

古本市や資源循環活動等を通して、身近なゴミや資源について考える。

- ・古本市
- ・キャンドルナイト



生物多様性保全部門

岐阜大学における学生主体の自然再生・生物多様性保全プロジェクト。

- ・鶴ヶ池自然再生プロジェクト
- ・キャンパス植物マッププロジェクト



G-ametとは？

●活動理念

わたしたちだからできること。

私たちはこの活動理念のもと、環境活動に対して、活発に、そして発展させながら皆さんと一緒に取り組みます。この理念には、大学キャンパスでできること、学生や教職員が参加できることから取り組み、私たち一人ひとりが環境について考えるきっかけをつくりたいという思いが込められています。

●活動方針

**“大学生だからできること”に
取り組む**

環境問題の解決や環境配慮の背景に潜む社会的な思惑や利害思惑や利害に囚われず行動できる「学生」という存在。

すべての人の環境意識の向上

教職員も含めた大学全体の環境意識の向上を目指す。さらに、学生一人ひとりが環境に配慮した行動を当たり前に行えるようになる。

PDCAサイクルを意識する

環境問題の「不確実性」に対してはPDCAサイクルを意識して、目的・目標を持って継続的な活動を、時には科学的知見によってその効果を検証しながら進める。

すべての人にオープンな取り組みを

活動は透明性を持って、学内や地域にオープンな取り組みとして進める。私たちの考えや対策手法が適切なものであるかどうか、幅広く意見を求め活動に反映させる。



廃棄物・資源循環部門 キャンドルナイト

○活動内容

生協の食堂で出た廃油と、教員や学生から回収した空き缶・ビンを利用し製作したキャンドルを大学で灯す。

○効果

- ・廃油や空き缶などの廃棄物の有効活用
- ・キャンドルを見た人が環境問題について考えるきっかけに





クリーン キャンパス

○活動内容

大学内や周辺に落ちているたばこなどのゴミを拾う。
大学全体でも実施。

○効果

- ・大学構内の環境・景観保全
- ・学生の目に入る場所で行い、ポイ捨て防止の啓発



古本市



○活動内容

教員から不要になった本をいただき、必要な人に無償譲渡する

○効果

- ・利用されず研究室で眠ったままの本の活用
- ・本の廃棄の減少
- ・多くの学生に充実した教育を
- ・本という資源を中心に環境問題に興味を持ってもらう



自転車リユース市

○活動内容

卒業生からいらなくなった**自転車**をもらい、新入生に譲渡する。
(昨年度より試験的に開始、今年度も実施中)

○効果

- ・大学内や周辺の放置自転車発生抑制(**景観保全**)
- ・大学内(主に学生間)での**資源循環の促進**





廃棄物・資源循環部門

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

17 パートナシップで目標を達成しよう

16 平和と公正をすべての人に

15 陸の豊かさも守ろう

14 海の豊かさを守ろう

13 気候変動に具体的な対策を

無料の本を手取ることによる
学習の促進

ゴミや放置自転車のない
きれいなキャンパス環境づくり

使える資源の再利用
ゴミの分別でリサイクルを
資源を譲渡し、リユースを

サークル外の個人や
団体との協働

ゴミ拾いで、海にゴミ
が流れるのを防止

キャンドルを灯す際
CO2の発生



鶺鴒池自然再生 プロジェクト



半世紀近く放置され、貴重な湿地環境が失われつつある池の自然再生

- ➔ 周辺の自然環境や土地利用も考慮して新たな湖沼・湿地生態系を創出する
- ➔ あらゆる分野における専門家の協力のもと科学的知見に基づいた保全方策を実施する
- ➔ 生物多様性保全の地域拠点として調査研究や自然観察、人材育成、環境教育の場を目指す

○活動内容

エコトーン造成事業

水質調査

動植物調査

埋土種子調査

特定外来生物駆除

キャンパス植物マッププロジェクト



エコトーン造成事業



○目的

鵜ヶ池が有していた豊かな湖沼・湿地生態系とその多面的機能の修復

現状

エコトーン(移行帯)
の消失
・
湖岸の浸食

目標

水辺植物の定着
・
湖岸の浸食の防止



キャンパス植物マップ プロジェクト



～植物の楽しさを知ってもらいたい!～

〇目的

- ✿ より多くの人に自然に親んでもらうこと
- ✿ 学内緑地の利用促進
- ✿ 環境に興味を持つきっかけづくりをすること
- ✿ 植物を知ることで今の生活をさらに楽しく過ごしてもらうこと

Instagram



@GIFUUNIBOTANICALMAP

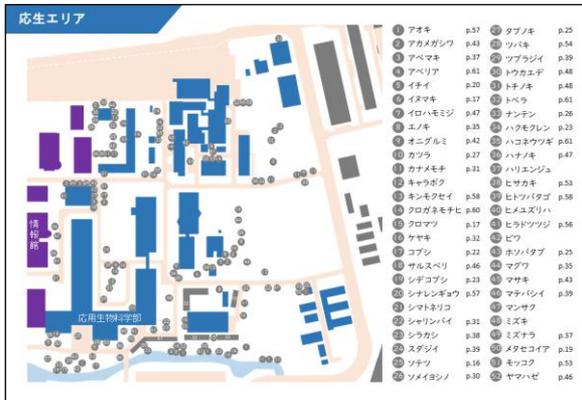
〇活動内容



キャンパス 植物マップの作成

樹木紹介冊子 「ミドリイロノジンセイ ～キャンパス植物まるわかりBOOK～」

キャンパス樹木マップ



樹木紹介



特集ページ



本をもって学内を散策
してもらえるように、
学内主要エリアの
樹木をプロット

学内の主要な植物を紹介
名前の由来や用途などの
小噺を記載
特徴がわかりやすいスケッチ

作成者が各々
オリジナルページを作成
シダ植物やどんぐり、
水生植物など様々な内容

イベントの開催

○目的

- 🌿 活動の周知
- 🌿 緑地の利用促進
- 🌿 地域の方にキャンパスの自然の豊かさを知ってもらうこと
- 🌿 植物の楽しさを知ってもらうこと



お花探しイベント(小学生向け)



標本庫見学+野外観察イベント(全年齢向け)





1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

17 パートナーシップで目標を達成しよう

16 平和と公正をすべての人に

15 陸の豊かさも守ろう

14 海の豊かさを守ろう

13 気候変動に具体的な対策を

専門家、地域社会との連携

湿地生態系の保存と再生

環境に配慮した
資材の利用

自然と共生する
キャンパス作り

自然に親しむ

環境教育

水質改善